

「省エネルギー学習会」

会議年月日	2021年1月8日	時間	13:30 ~ 15:30	場所	流山市生涯学習センター(3F)
-------	-----------	----	---------------	----	-----------------

出席者	吉永、筒井、横田、増永、下田、高橋、春田(記) Web: 中川、菅原、平手、笠原、西川、山田
-----	---------------------------------------------------

議 題

1月度「省エネ学習会」を開催した。

- 1, テーマ=ECO検定を受験して
- 2, 講師=吉永泰祐(気象予報士、OBN会員)
- 3, 内容=①受験の動機 ②ECO検定とは ③出題範囲 ④温暖化対策への世界的取り組み
⑤国際的な取り組みの成功事例としてのオゾン層保護 ⑥SDGs ⑦生物多様性の保護
⑧廃棄物処理 ⑨環境ラベル ⑩受験しての感想



まもなく第8版が出るので
それまで待ちましょう。

勉強の方法

- ・このテキストをよく読む
- ・過去問を解く(私は10回分)
- Book Offで古本を買う
内容が古いので注意
- ・放送大学の環境講座を見る
地球温暖化と社会イノベーション

気候変動に関する国際交渉の経緯

1990 2000 2010 2015 2020

気候変動
枠組条約 1992採択
京都
議定書 1997採択

京都議定書 第一約束期間
京都議定書 第二約束期間

COP16 2010 発展途上国及び第2約束期間に参加しない
カンクン合意 先進国に2020年までの目標・ルール設定
パリ協定 採択2015
パリ協定 実施

<国及び第三者機関の取組による環境ラベル>



オゾン層保護

- ・地球を取り巻くオゾン層は、生物に有害な紫外線を吸収しているが、他方で、冷蔵庫の冷媒等として使用されていたフロン等は、大気中に放出され成層圏に達すると紫外線による光分解によって塩素原子等を放出し、オゾン層を破壊する。
- ・オゾン層の破壊に伴い、地上に達する有害な紫外線の量が増加し、人体への被害(白内障・皮膚癌の発生率の増加等)及び自然生態系に対する悪影響がもたらされている。
- ・このようなオゾン層破壊のメカニズム及びその悪影響は、1970年代中頃から指摘され始め、南極上空に「オゾンホール」(吉永注:ネーミングの勝利)が出現し、その後、国際的な議論が行われ、

- ア 1985年、オゾン層の保護を目的とする国際協力のための基本的枠組を設定する「オゾン層の保護のためのウィーン条約」が、
- イ 1987年、同条約の下で、オゾン層を破壊するおそれのある物質を特定し、当該物質の生産、消費及び貿易を規制して人の健康及び環境を保護するための「オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書」が、それぞれ採択されるに至った。

環境問題の基礎的な知識を
整理するのに最適

皆さん来年のWEB試験を受けましょう

知識から実践へ

<次回予定>

日時=2021年2月5日(金) 13:30~15:30 場所=流山市生涯学習センター(3F)第4会議室

内容=「日本の気候変動2020」(気象庁資料)の概要編を読む 講師=下田 収(OBN会員) 以上